

熱反ガラスの暑さ対策ができます。

【なぜ、熱反ガラスが熱いのか？】

近年の高性能熱線反射ガラスは、どの色調でも日射熱吸収率が60%を超えることが殆どです。これはいわゆる熱線吸収ガラスとほぼ同程度。

猛暑日なら東京都の場合でも、ガラスの温度がFLGよりも10℃高くなり、50℃を超えることも。窓際は、このガラスの火照り感で感じます。

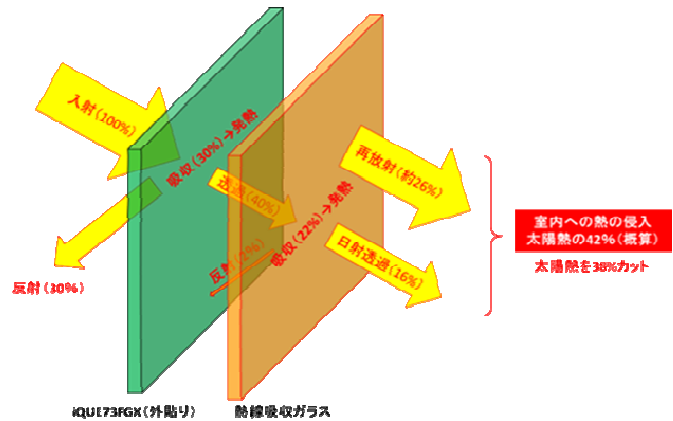
色調	種類	遮蔽係数	日射			可視光		紫外	ガラス温度
			反射	透過	吸収	反射	透過	透過	
シルバー①	高性能熱線反射	0.26	32	6	63	40	8	3	52
シルバー②		0.32	25	10	65	31	14	4	
シルバー③		0.38	20	14	66	23	20	8	
ブルー①		0.47	16	21	63	17	29	11	
ブルー②		0.56	10	30	60	11	39	16	
シルバー	熱反射	0.74	20	57	23	31	62	34	43
グリーン	熱吸収	0.62	5	33	62	7	67	13	52
透明ガラス		0.92	7	74	19	8	87	54	42

iQUEなら！

高耐候な日射反射フィルムiQUEを外貼りすれば……

夏日、熱反ガラスが日射を吸収する前に、外貼iQUEフィルムが日射を反射するので、ガラスの温度上昇を抑えることができます。だから、窓際が涼しくなります。

色調	施工	日射			温度(°C)	熱貫流(W/m²)
		反射	透過	吸収		
熱線反射	—	20	14	66	52	120
+73FGX	外貼	33	6	60	50	90
+73FG	内貼	21	6	73	54	106
熱線吸収	—	5	33	62	52	137
+73FGX	外貼	30	14	56	50	99
+73FG	内貼	8	14	78	55	122



元々熱くなりやすい熱線吸収・熱線反射ガラスには、安易にフィルムを施工すると、熱が溜まりやすくなって、熱割れ事故を起こすことがあります。まずは専門家に相談して、熱割れリスクの少ない専用のウィンドウフィルムを選びましょう。



【採用事例】



住所: 大阪府東大阪市
 施工: 展望室(南面)
 選定: iQUE73FGX

【採用の理由】

ブラウンの熱線吸収ガラスが熱いというクレームが多発したことに加え、その影響で展望室周辺のエアコン(集中制御)の利きが非常に悪く、市民の展望室利用者が思わしくなかった。熱割れリスクが高まる懸念が無いこともあり、採用を決めた。